

第1回 参加者別対話 対話内容【日揮グループ】

実施日：平成21年6月15日（月）15:30～17:30

公開番号	内容	公開 非公開	質問・提案	病院事業庁の考え方
1	参加者別対話の進め方	公開	参加者対話の進め方について確認したい。 (1)今後提出議題の一部について変更や追加があった場合、対話に先立ち、参加者名簿とともに当日の議題を都度提出させて頂くことでよいか。 (2)当グループは対話内容の明確化を目的に図表などを提示する予定であるので、この方法につきご了承願いたい。 (3)時間内で十分対話が出来なかった項目等についても出来る限り文書でご回答頂けないか。 (4)公表される参加者別対話内容の議事録及び非公開となる対話内容の双方とも入札説明書と同等の効力を有するものと理解してよいか。 (5)当グループとして提示する図表等の内容につきましては取り扱いに充分ご留意願いたい。	(1)～(5)まで全てよい。
2	参加者別対話結果の公表	公開	参加者別対話の対話結果の最終公表日として8月19日が予定されているが、複数回行った場合、当グループを含む全グループの議事録は都度公表されるのか。提案検討の日程にも絡むので、中間公表の有無、時期、公表回数についてご教示頂きたい。	ホームページへの公開は最後にまとめて行うが、他グループへの公開は、事業者の確認を得た上で、対話から1週間程度を目途に行う予定である。
3	公表資料の修文	公開	5月29日の質疑回答にあわせて特定事業契約(案)、基本協定書(案)、業務要求水準書、様式集及び記載要領の新旧対応表を公表頂いたが、これらの修文の予定についてご教示頂きたい。	作成予定であるが、時期は未定。
4	特定事業契約書(案)	公開	特定事業契約(案)第12条規定の全体スケジュール表は、(1)関係諸官庁等との協議、(2)重粒子線治療施設の整備スケジュール、(3)建設用地③及び④の引渡し時期、(4)病院事業庁調達の新病院情報システム導入時期などにより随時変更があり得る。事業者側のみではコントロール出来ない可能性のあるこれら要因によるスケジュールの見直しにつき都度協議頂けるとの理解でよいか。	(1)については、事業者の責任と考える。(2)から(4)については、病院事業庁側の要因であれば、スケジュールの見直し条項はないが、柔軟に協議する。
5	加算評価項目提案書記載事項	公開	第00-20号様式においてCASBEE横浜2009年度版評価ソフトによるBEE値の記載が求められているが、基本設計・実施設計における各種仕様の確定にともなってBEE値が変動した場合の取扱いはどのように考えているか。 また同様に、年間CO2排出量、事業期間中のCO2総排出量についてもご教示頂きたい。	原則として提案のBEE値を守ってもらう。ただし、病院事業庁の要望による設計変更によりBEE値が変動した場合については、変動値を客観的に判断して、適正であればこの限りではない。なお、CASBEE横浜のAランクは要求水準であるので遵守が必須である。光熱水費、CO2発生量についてはあくまでも評価のためによるものであるため、提案書作成の過程で適正に計算されていれば、基本・実施設計で数値が変わることも許容できる。 計算が妥当かどうかはしっかり見直し、不明な部分は問い合わせる。提案書を実現させることが大前提であるが、提案書の段階で実施設計までできている訳ではないので、ある程度の許容範囲はあると思っている。
6	加算評価項目提案書記載事項	公開	第00-21号様式において年間光熱水費の算定が求められているが、落札後の基本設計・実施設計における各種機器等の仕様確定にともなって提案の年間料金が変動した場合の取扱いはどのように考えているか。	上問を参照。
7	旧がんセンター解体除却業務	公開	解体除却物のトラック等への積み込み・運搬は「解体除却物の処分」として県の業務に含まれるとのことだが、解体工事と並行して、積み込み・運搬・処分されるものと理解してよいか。	あくまでも想定であるが、県側業務である「積み込み・運搬・処分」について、PFI事業者にも別途随意契約することもあり得ると考えている。
8	旧がんセンター解体除却業務	公開	解体内装材を外場で集積した場合、雨に濡れると重量が重くなり運搬費用が増加したり、リサイクルが出来なくなる可能性があるが、どのように考えているか。	上問を参照。
9	旧がんセンター解体除却業務	公開	建物内に残された残置廃棄物（不要家具、什器、保管物、液槽内の液体等）の処分は持ち主に処理責任があり、施工者側で処理する事は廃棄物処理法違反（無許可業者の処理の委託）に当たるため、発注者側で処分するものと考えてよいか。（法第6条の二の6、7、施行令第四条の四（事業者の一般廃棄物の運搬、処分等の委託の基準）による）	原則病院事業庁で処分する。
10	建設工事	公開	旧がんセンター解体除却工事の要求水準は、新病院建設に伴う造成工事・解体工事にも同様に適用されるとの理解でよいか。（例：埋戻しに使用する砕石の指定、ガラ等の積み込み・運搬処分費の負担など）	新病院に伴う造成、解体除却工事においても旧がんセンター解体除却工事の要求水準を適用することでよいが、積み込み・運搬・処分費用については、建設工事に伴う処分なので事業者の負担とする。
11	建設業務	公開	旧がんセンター解体除却業務も含め、家屋調査範囲及び近隣説明会参加者範囲については、条例、法令等に準拠した上で事業者判断との理解でよいか。	業務の内容は事業者判断となるが、要求水準記載事項は当然、実施する必要がある。

公開番号	内容	公開 非公開	質問・提案	病院事業庁の考え方
12	建設業務	公開	事前調査業務が新病院建設関係の要求水準の業務として記載がないが、第20-5号様式(1)の電波障害調査、周辺家屋調査が業務範囲であるとの理解でよいか。 他方、様式集第20-4号(1)(3)においては電波障害調査、周辺家屋調査以外の測量・地質調査の工程記載が求められているが、かかる業務は別途と考えてよいか。 同様に、旧がんセンター解体除却においては、様式集第20-5号(4)にて周辺家屋調査のみあげられているが、様式集第20-4号(2)においては周辺家屋調査以外の既存建物調査(アスベスト調査)の工程記載が求められているが、かかる業務は別途と考えてよいか。	測量については申請業務で必要とされるので、事業者が行うことを想定している。その他の事前調査は事業者により工法等が異なるため、事業者が判断して行うこと。県側の要因で追加調査が必要となる場合には、追加費用を払う。
13	建設業務	公開	重粒子線治療施設の敷地の造成工事は本件事業範囲外との理解でよいか。	よい。
14	建設業務に係る近隣対応	公開	平成20年10月の質疑回答にて「実施方針の公表の前後に周辺自治会及び隣接する住民に対して、がんセンター整備運営事業を含めた二俣川地区全体の整備計画について説明しております」とのことだが、本件事業についての近隣住民からの質問内容及び病院事業庁として約束していることがあればご教示頂きたい。特に、北側隣地住民との関係で留意すべきことがあればご教示頂きたい。	住民説明会の議事録により確認して欲しい。
15	職員用駐車場の建設予定場所	公開	がんセンター職員の病院アクセスルートに関する検討のため、職員用駐車場の建設予定場所や想定台数などをお示し頂きたい。	現在、未定である。
16	無菌病棟	公開	施設に係る要求水準Ⅲ質問回答No71の「無菌病棟については部屋を無菌状態に保つため外気に直接に接することは認めません」との回答の主旨は何か。 病棟全部がFIXなのか。メンテナンスなどを考えて、一部開くようにすることは考えないのか。	基本は全てFIXとする。避難については、法的に仕方がないが、排煙については別の方法があるので認めない。
17	患者支援センター内がんセンタースタッフ人員	公開	患者支援センター内には、何名の県側職員配置を想定すればよいか。	20～25名程度で、内訳は看護師9名、MSW5名、医事課7名程度を想定している。
18	検体の流れについて	公開	業務要求水準書191頁「検体検査構成図」において、ランチ・ラボと緊急検査との間に検体の流れが記載されているが、どのような状況を想定されているのか。	通常は余り想定されないが、隣と扉でつながっていた方が連携がいいということを示している。
19	滅菌コンテナ数の想定	公開	新病院で想定している滅菌コンテナの数をご教示頂きたい。	提案にゆだねる。
20	資料・データ開示要請	公開	敷地の現況外構詳細図の提示をお願いしたい。	CDにより貸し出す。
21	資料・データ開示要請	公開	防災備蓄倉庫の詳細図の提示をお願いしたい。	図面はない。購入先は、優光社で、型番はK-101-UB(2台)、K-102-UB(1台)である。
22	病院コンセプト	公開	平成20年8月公表の「神奈川県立がんセンター総合整備について」にて整備基本方針は了解しているが、よりの確かな検討を行うため、がんセンター固有のビジョンや今後のがん医療の展開などについて、病院事業庁の見解を聞きたい。	「神奈川県立がんセンター総合整備について」記載の通りであるが、特に都道府県がん診療連携拠点病院として診療以外に教育・研修もこなさなければならない。治療についても、これまでも常に変わってきたし、これからも変わっていく。その変化にどう対応するか、一緒に考え、一緒にやってもらいたい。また、大学病院ではないので、がんに特化して成果を上げ、それを広げる責任がある。そういう意味で大学病院とは違う。
23	将来的な成長と変化について	公開	将来の増築の可能性についての病院事業庁の考えはどうか。 また、将来的な成長と変化に関し、内部改修を前提として、各部門には十分なスペース(面積)が確保されていると捉えてよいか。	増築は想定していない。将来の増加を見込んだ計画としている。
24	設計GLについて	公開	重粒子線治療施設の地盤レベルが敷地全体の施設の日影検討に影響するため、設計GL及び敷地内レベルは事業者提案とし、重粒子線治療施設は当該レベルに合わせて頂けるものとの理解でよいか。	設計GLは事業者提案で確定し、重粒子は病院に合わせる。
25	断面構成について	公開	断面構成において、当初案では、地下1階に厨房、薬剤、物流管理(SPD)、病理解剖、霊安室が配置されていたが、4月の入札公告では最終的にこれら部門の設置階数は事業者提案になっている。このように変わった理由は何か。	事業者の業務に関するエリアについては、配置も事業者任せにしようが、より良い提案が出るのではないかという発想である。
26	維持管理・運営業務の調達設備・機器	公開	物流管理運営業務(リネンを除く)のサービス購入料改訂率は「改定率①」が採用されているが、これは「毎月勤労統計調査」(厚労省)で人件費のみを対象にしているが滅菌機器類、消耗品類の物価変動についてはどのように反映されるのか。 また、消毒・滅菌方法の進歩に伴い、求められる機器の仕様も変わり得るので、提案時には、一般的な耐用年数(8年程度)で償却した場合の費用を算出の上、見積条件に記載し、耐用年数が経過した時点で機器・費用を見直す方法を検討頂けないか。	前段については、人件費を基にした改定率①により反映させる。 後段については、変更しない。